

水分補給～自作ペットボトル～

紹介者 山本 智章

今回の特集が便利グッズということで、車椅子に乗っている時の水分補給について書きたいと思います。私はベッド柵にペットボトルを吊って水分補給ができるようにしています。体温調整やカテーテルが詰まらないように水分補給は欠かせないと思います。このペットボトルをベッド柵にセットしてもらえば人が居なくても飲みたい時に水分補給ができるのでとても便利です。

自作ペットボトルの作り方を紹介したいと思います。必要なものは500ミリのペットボトル、穴を開けたペットボトルのキャップ、針金、ハンガー、園芸用のチューブ、予め切っておいた2リットルのペットボトル、洗濯バサミ、ビニールテープ、ガムテープです。作り方はチューブに針金を等間隔で巻きまわります。針金を巻くことでチューブがしっかりしてある程度は自由に動かせます。それを穴の開いたキャップに通して500ミリのペットボトルに付けければ、ペットボトルとチューブの完成です。次にベッド柵に吊るすハンガーを作ります。曲げたハンガーと予め切っておいた2リットルのペットボトルをガムテープで固定します。このように作ったペットボトルは500ミリ入るので午前と午後2回入れておけば1リットルの水分補給ができます。



ベッド柵に自作ペットボトルを固定



水分補給の様子



材料

- ・針金・チューブ・ペットボトル・キャップ
- ・洗濯バサミ・ハンガー・切ったペットボトル



ベッド柵にセットする前